

(農林)50-6

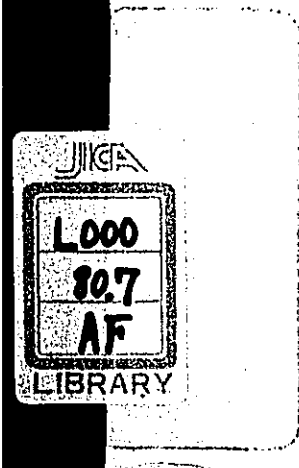
昭和50年度

農林業開発協力事業実行計画(案)

昭和50年5月

国際協力事業団

農林業計画調査部
農業開発協力部
林業開発協力部



国際協力事業団

受入 月日	'84. 5. 25	L000
登録No.	07712	80.7 AF

昭和50年度農林業開発協力事業実行計画(案)

目 次

I. 昭和50年度予算	1	3. 専門家養成確保事業計画	82
1. 事業費	1	(1) 専門家の登録	82
(1) 農業協力事業	1	(2) 専門家の確保	82
(2) 開発技術協力事業	10	(3) 専門家の養成	83
(3) 開発調査事業 (農林業関係分のみ)	15	4. 開発技術指導事業計画	85
(4) 専門家養成確保事業 (農林業関係分のみ)	16	(1) 民間企業等技術指導	85
(5) 開発協力事業 (農林業関係分のみ)	18	(2) 現地従事技術者等受入研修	85
(6) 開発投融資事業 (農林業関係分のみ)	20		
II. 業務実行計画	21		
1. 調査実行計画	21		
2. プロジェクト運営計画	28		
(1) 農業協力事業	29		
(2) 開発技術協力事業	71		
(3) 調査関係実施計画表	80		

JICA LIBRARY



1056788E1J



I 昭和50年度予算

1. 事業費

(1) 農業協力事業費

(注) 50年度予算中、農業協力事業費全体で2,229,113千円(10%)の節約をしなければならない。

また()内は前年度よりの繰越額で外数。

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
農業協力事業費	千円 2,229,113 (728,493)			
① 調査費	217,870 (57,962)			
ア 事前調査	14,886 (5,446)	件 名	予 算	備 考
			千円	
		中南米地域プロジェクト・ファイディング調査	4,962	
		サウジアラビア農業開発予備調査	4,962	
		タイ農業開発予備調査	4,962	
		インドネシア南スラウェシ農業開発予備調査	4,651	前年度よりの繰越
		その他(中近東プロジェクト・ファイディング調査報告書作成)	795	前年度よりの繰越
イ 実施計画調査	18,703 (3,735)	件 名	予 算	備 考
			千円	
		フィリピン・カガマン農業開発	3,735	前年度よりの繰越
		インドネシア南スラウェシ農業開発	9,351	
		インドネシア養蚕開発	9,352	

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
調査 施設 実施	千円 71,493 (31,403)	件名	予 算	備 考
		フィリピン・カガヤン農業開発	千円 23,831	
		インドネシア・南スラウェシ農業開発	23,831	
		インドネシア・ウンプアングブアン農業開発	23,831	
		タンザニア・キリマンジャロ農業開発	20,168	前年度よりの繰越
その他(ブラジル・リベイラ河報告書作成)	11,235	前年度よりの繰越		
指導 巡回 工	25,920 (1,325)	件名	予 算	備 考
		ブラジル・リベイラ河流域農業開発	千円 2,592	
		タンザニア・キリマンジャロ農業開発	2,592	
		バングラデシュ農業開発	2,592	
		インドネシア・ランポン地区	2,592	
		タイ 養蚕 開発	2,592	
		農業 土木 分野	2,592	
		栽培 分野	2,592	
		その他(ネパール農業開発, インドネシア農研, 農業普及, インドネシア・ランポン, 農業機械の報告書作成)	1,325	前年度よりの繰越

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
キ. 基礎調査	千円 41,263 (8,721)	件名	予算	備 考
		計画基準作成調査	千円 19,967	根拠機械化の計画基準
		開発基礎調査	14,063	砂漠開発
		開発実態調査	7,233	アメリカ及び南アメリカ
		現地研修調査	7,371	前年度よりの繰越分
その他(計画基準報告書作成費)	1,350	前年度よりの繰越分		
② 実施計画費	8,400 (0)			
ア. 新規プロジェクト	657 (0)	2プロジェクト(フィリピン・カガヤン農業開発, インドネシア・南スラウェシ農業開発)		
イ. 継続プロジェクト	6,241 (0)	19プロジェクト(インドネシア西部ジャワ食糧, インドネシア・タジム地区, インドネシア・ランポン地区, インドネシア農業研究, フィリピン稲作開発, ヴィエトナム・カントー大学, ラオス・タゴン地区, マレーシア農業機械化, タイ養蚕開発, スリランカ・デワフワ村落, インド農業普及センター, インド・ダングカラニア農業開発, インド農業研究, ネパール農業, バングラデシュ農業開発, イラン・シスタン農業開発, 韓国農業研究, タンザニア・キリマンジャロ農業開発, ブラジル・リベイラ河)		
ウ. 農業協力基礎調査準備計画費	1,502 (0)			
③ 専門家派遣費	597,192 (23,077)			

科目区分	昭和50年度予算	内 訳				
了派 遣 費	千円 123,696 (23,077)	専 門 家 派 遣 計 画				
		国 名	プ ロ ジ ェ ク ト 名	専 門 家 派 遣 (単 位 : 人)		
		長 期			短 期	
		継 続	帰 国	新 規		
(継続プロジェクト)						
インドネシア	タ ジ ム 地 区		3		1	
	ラ ン ポ ン 地 区	1	6	6		
	農 業 研 究	2	2	2	3	
ヴェトナム	カ ン ト - 大 学	2	2	2	2	
ラオス	タ ゴ ン 地 区	11				
マレーシア	農 業 機 械 化		2			
タイ	養 蚕 開 発	7			2	
スリランカ	デ フ フ フ 村 迄		5			
インド	農 業 普 及 セ ン タ ー		11			
	ダンダカラニア農業開発	8			2	
	農 業 研 究	8		*8	*印は繰越分 以下同じ	
ネパール	農 業 開 発	10				
Bangladesh	農 業 開 発		3	3		
イラン	シ ス タ ン 農 業 開 発	5		*3		
韓国	農 業 研 究	1			9	
タンザニア	キリマンジャロ農業開発	4		5	3	

科目区分	昭和50年度予算 千円	内 訳					
		国名	プロジェクト名	専 門 家 派 遣 (単位:人)			備 考
長 期				短 期			
		継 続	帰 国		新 規		
		ブラジル (新規プロジェクト)	リベイラ河流域	5		*3	
		フィリピン	カガヤン農業開発			5	
		インドネシア (フォローアップ プロジェクト)	南スラウェシ農業開発			5	
		フィリピン	稲作開発	5			
		インドネシア (長期調査員)	西部ジャワ食糧増産	4		5	10+*
		計		73	39	38+15	30
1. 在 勤 手 当	387.616 (0)						
2. 住 宅 手 当	57.802 (0)						
工 語 学 手 当	15.781 (0)						
不 償 地 手 当	2305 (0)						

科目区分	昭和50年度予算	内	訳
児童教育手当	千円 4,992 (0)		
④ 携行機材費	32,384 (8,808)	i) 専門家 (i) 前年度繰越分 14名 (ii) 50年度 58名(各368,400円)	4,508千円 21,344千円
		ii) 長期調査員 (i) 前年度繰越分 (ii) 50年度 4千-4(各2,760,000円)	4,300千円 11,040千円
⑤ 現地業務費	83,398 (0)	i) 現地業務費 (i) 継続プロジェクト 7カ月1カ所, 9カ月4カ所, 11カ月1カ所, 12カ月23カ所 (ii) 新規プロジェクト 8カ月2カ所 (iii) フォローアッププロジェクト 12カ月 9名	各120,000円/月 各120,000円/月 各20,000円/月
		ii) 現地研究費 12カ月21名 iii) 応急対策費 継続プロジェクト 191カ所・月	各100,000円/月 各64,000円/月
		iv) 長期調査員調査費 帰 国 6カ月2カ所 新 規 6カ月4カ所	各61,600円/月 各61,600円/月
⑥ 所属先給与補填経費	268,487 (0)	1.75/人・月 × 2/3,	各230,000円/月

科目区分	昭和50年度予算	内	訳
② 専門家一時帰国旅費	千円 19,364 ()	20家族分 (専門家1人, 妻1人, 子1人)	
③ 子女呼寄せ旅費	963 ()		
④ 連絡会議旅費	12,055 ()	i) プロジェクト・リーダー連絡会議 (各プロジェクトリーダー2人, 本邦参加者 2人)	6,716千円
		ii) プロジェクト・技術者会議 (各プロジェクト普及・栽培関係専門家2人, 本邦参加者 2人)	5,339千円
⑤ 機材供与費	989,000 (638,646)		
		プロジェクト名	繰越 50年度 備考 千円 千円
		(継続プロジェクト)	
		インドネシア タジム地区	15,000
		〃 ランポン地区	65,632 103,000
		〃 農業研究	6,730 60,000
		ヴェトナム カントー大学	40,074 55,000
		ラオス タゴン地区	55,200 15,000
		マレーシア 農業機械化	5,907 15,000
		タイ 養蚕開発	49,000
		スリランカ デワアワ村落	58,227 50,000
		インド 農業普及センター	27,600 15,000
		〃 ガンダカラニア農業開発	76,000 15,000
		〃 農業研究	32,044 40,000
		ネパール 農業開発	70,288 122,000

科目区分	昭和50年度予算 千円	内 訳			
		プロジェクト名	繰越分 千円	50年度 千円	備 考
		バングラデシュ 農業開発	54,464	85,000	
		イラン シスタン農業開発		60,000	
		韓 国 農業研究	45,740	60,000	
		タンザニア キリマンジャロ農業開発	34,960	71,000	
		ブラジル リベイラ河流域	65,780	49,000	
		(新規プロジェクト)			
		フィリピン カガヤン農業開発		40,000	
		インドネシア 南スラウェシ農業開発		40,000	
		(フォローアッププロジェクト)			
		フィリピン 稲作開発		15,000	
		インドネシア 西部ジャワ食糧増産		15,000	
		計	638,646	989,000	

(2) 開発技術協力事業

(注) 50年度予算中、開発技術協力事業費全体で52,653千円(10%)の節約をしなければならない。
また、()内は前年度よりの繰越額で外数。

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
開発技術協力事業費	千円 52,653 (163,904)			
① 調査費	72,332 (30,357)			
ア 事前調査	28,472 (6,521)	件 名	予 算	備 考
		フィリピン 飼料作物開発	千円 4,745	
		" 木材加工	4,746	
		インドネシア 浅海養殖	4,746	
		メキシコ 畜産開発	5,291	前年度より繰越
		その他 (ブラジル-沢産品, タイとうもろこし報告書作成)	1,230	前年度より繰越
		別に鉦工農調査案件等 (3件)	14,235	4,745千円×3件 =14,235千円
イ 実施計画調査	7,830 (6,311)	件 名	予 算	備 考
		タイ とうもろこし開発	千円 3,915	
		マダガスカル 畜産開発	6,311	前年度より繰越
		鉦工農調査案件	3,915	

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
調査施設	千円 24,894 (16,903)	件名	予算	備考
		ブラジル 一次産品開発 マダガスカル 畜産開発	千円 24,894 16,903	前年度よりの繰越
巡回指導	千円 9,237 (622)	件名	予算	備考
		タイ 一次産品巡回指導 タイ 養蚕巡回指導	千円 4,619 4,618	
		その他 (タイ一次産品, タイ養蚕報告書作成)	622	前年度よりの繰越
不計画打合せ	千円 1,899 (0)	件名	予算	備考
		マダガスカル 畜産開発計画打合せ	千円 1,899	
③ 実施計画費	千円 4,143 (0)			
ア プロジェクト運営費	千円 2,297 (0)	継続プロジェクト タイ大豆, タイ養蚕, インドネシア・ランボン, カンボディアとうもろこし, 4件 各327千円. 計 1,308千円 新規プロジェクト 3件 各327千円 計 981千円		
イ 開発調査準備計画費	千円 1,846 (0)	フィリピン飼料, フィリピン木材, インドネシア浅海養蚕等		

科目区分	昭和50年度予算	内 訳					
③ 専門家派遣費 派遣費	千円 144,548 (0) 42,190 (0)	国名	プロジェクト名	専門家派遣数 (単位:人)			備考
長期 継続	帰国	新規	短期	(継続プロジェクト) インドネシア ランポン農業開発協力 タイ 大豆開発 ・ オイルシード ・ えび養殖 カンボディア トウモロコシ (新規プロジェクト) マダガスカル 畜産開発 その他 長期調査員			
計		5	7	32	3		
1. 在勤手当	83,211 (0)						
2. 住宅手当	13,133 (0)						

科目区分	昭和50年度予算	内	款
	千円		
工. 語 学 手 当	3,474 (0)		
不. 僻 地 手 当	1,660 (0)		
力. 子 女 教 育 手 当	880 (0)		
④ 携 行 機 材 費	17,664 (0)	i) 専 門 家 18人 各368,000円 ii) 長 期 調 査 員 4チ-ム 各276,000円	
⑤ 所 属 先 給 与 補 填 経 費	70,227 (0)	458人月 × 2/3, 各230千円	
⑥ 専 門 家 一 次 帰 国 旅 費	1,769 (0)		
⑦ 子 女 呼 寄 せ 費	318 (0)		
⑧ 基 地 活 動 業 務 費	25,536 (0)	i) 現 地 傭 人 費 12カ月 3カ所, 9カ月 3カ所 各 28,336円/月 ii) 通 訳 費 12カ月 3カ所, 9カ月 3カ所 各 4,600円/月 iii) 現 地 業 務 費 プロジェクト分 12カ月 5カ所, 9カ月 3カ所 各 120,000円/月 長期調査員 5チ-ム 6カ月 各 61,600円/月 iv) 現 地 活 動 旅 費 12カ月 3カ所, 9カ月 3カ所 各 138,000円/月	

科目区分	昭和50年度予算	内訳			
② 機材供与費	千円 190,000 (133,547)	プロジェクト名	繰越分	50年度	備 考
			千円	千円	
		(継続プロジェクト)			
		インドネシア ランポン	68,743	80,000	
		タ イ 一次産品	9,200	10,000	
		タ イ えび養殖	52,348	30,000	
カンボディア どうもろこし	3,256	10,000			
(新規プロジェクト)					
3プロジェクト分		60,000			
計		133,547	190,000		

(3) 開発調査事業

科目区分	昭和50年度予算	内 訳			
開発調査事業費	千円 190,000	(参考) 農林水産関係開発調査実施候補案件			
			件 名	予 定 額	備 考
事前調査			ペルー農業開発	千円 約4,500	
			インドネシア・イリアン林業開発	約4,500	
			インドネシア・ラレムアブンかんがい	75,000	
			ペルー漁業基地	未 定	
			インドネシア・ビラボヤかんがい	未 定	
			ガーナ農業開発	30,000	
			フィジー林業開発	未 定	
			北イエーメン農業開発	未 定	
			カゲマンバレー農業開発	未 定	
			そ の 他		
実施調査			メキシコ, スリランカ, フィリピン海洋資源開発	未 定	
			特殊案件調査		
			ヴェトナム・カントー大学調査報告書	1,259	49年度繰越
			ガイアナ漁業基地調査報告書	1,144	49年度繰越
			バングラデシュ中央普及研究所調査	26,503	49年度繰越

(4) 専門家養成確保事業

(注) 50年度予算中、8,636千円(10%)の節約をしなければならない。
前年度よりの繰越はない。

科目区分	昭和50年度予算	内 訳
専門家養成確保事業費	千円 86,360	
① 専門家登録事業費	727	
ア 国内 行 費	293	登録応募者 100人
イ 行 費	434	
ア) 会 議 費	37	書類選考委員会 2回
イ) 資 料 作 成 費	305	原稿料(30枚×2回), 資料編集補助(10日×2回), 登録カード整備(30日), 印刷製本(200部×2回)
ウ) 借 料 及 損 料	24	登録者面接会場借料(3日×2回×2会場)
エ) 通 信 運 搬 費	68	パンフレット送付等
② 専門家確保事業	44,160	
専門家フェロー経費	44,160	20人×12カ月 各230,000円/月×0.8
③ 専門家研修事業費	41,473	
ア 中期研修経費	12,281	上級研修 3カ月, 20人(内, 国家公務員10名) 中級研修 3カ月, 30人(内, 国家公務員10名)

科目区分	昭和50年度予算	内 訳
イ. 長期海外研修経費	千円 20,164	2カ年間, 新規5人, 継続3人 (新規のうち1人の外国旅費は農林省予算に計上)
ウ. 研修用映画製作経費	8,388	農林部門研修用映画の製作(東南アジア等にて撮影)

(5) 開発協力事業

(注) 50年度予算額は10%節約しなければならない。
また()内は前年度よりの繰越額で外数。

科目区分	昭和50年度予算	内		訳	
開発協力事業費	千円 222,750 (99,287)				
① 調査費	182,431 (79,159)				
ア 開発基礎調査	79,211 (79,159)				
(ア) 第1次調査	13,283 (10,313)	件	名	予算額	備考
		スリランカ	農業開発	千円 4,383	
		北ヴェトナム	とうもろこし開発	4,383	
		ブラジル	ベレン地域森林造成	4,517	
		エクアドル	農業開発	6,042	前年度よりの繰越
		インドネシア	コタビナン森林開発	4,271	前年度よりの繰越
(イ) 第2次調査	65,928 (68,846)	件	名	予算額	備考
		エクアドル	農業開発	千円 8,482	
		コロンビア	北部農業開発	12,308	前年度よりの繰越
		マダガスカル	アントニーベ畜産開発	11,320	前年度よりの繰越

科目区分	昭和50年度予算	内		訳	
		件名	予算額	備考	
1. 開発計画調査	103,220 (0)	メキシコ 北部農業開発	34,264		
		フィリピン パンタバンガン森林開発	25,007	前年度よりの繰越	
		パプアニューギニア 森林開発	15,282	前年度よりの繰越	
		インドネシア コタビナン森林開発	23,182		
		その他 (ブラジル農業開発, タイとうもろこし報告書作成)	4,929	前年度よりの繰越	
		ブラジル セラード地域農業開発	23,336		
		タイ とうもろこし森林	30,910		
		フィリピン パンタバンガン森林開発	30,637		
		パプアニューギニア 森林開発	18,337		
		② 投融資審査等調査費	17,241 (12,283)	50年度分 7チーム 前年度繰越分 6チーム	17,241千円 12,283千円
③ 開発技術指導費	28,078 (7,845)				
ア. 民間企業等技術指導費	11,420 (7,845)	50年度分 (無償 2チーム(各2人, 75日) 有償 6チーム(各2人, 75日)) 前年度繰越分 (無償 2チーム(各2人, 75日) 有償 3チーム(各2人, 75日))	11,420千円 7,845千円		
イ. 現地従事技術者研修費	16,658 (0)	25人, 60日 (666,305円/人)			

(6) 開発投融資事業

科目区分	昭和50年度予算	内 訳		
開発投融資事業費(事業規模)	百万円 5,400	(参考) 昭和50年度国際協力事業団開発投融資原資(億円)		
出 資 金	3,700	49年度	50年度	備 考
		農 林 関 係		
		{ 事業規模	—	37
		{ 出 資 金	—	37
		鉱工業関係		
		{ 事業規模	—	44
		{ 出 資 金	—	30
		そ の 他		
		{ 事業規模	—	4
		{ 出 資 金	—	3
		全 体		
		事業規模	43	102
		出 資 金	{ 70	70
		繰越自己資金		32
				(繰越27億円+自己資金5億円)

II. 業務実行計画

1. 調査実行計画

(1) プロジェクトのフォーミュレーションを急ぐ案件

① フィリピン・カガマンバレー農業開発計画

(予算単位：万円)

49年度迄の経過	49年5月、カガマンバレー総合開発調査(開発調査事業費、事前調査)を実施。
昭和50年度の調査計画及び予算	開発調査(事前) (繰越 1,700) → 農業協力実施計画 → 農業協力実施 (2,383)
調査実施方針	早急に開発調査(事前)を実施し(5月下旬出発予定)、次いで技術協力プロジェクトの開始を目途に実施計画、実施調査を進める。

② インドネシア養蚕開発計画

49年度迄の経過	49年3月、農業協力予備調査、49年9月、農業協力計画打合せ、50年3月、長期調査員(3名)派遣
昭和50年度の調査計画及び予算	農業協力実施計画(935)
調査実施方針	プロジェクト協力の開始を目途に調査を進める。

③ タイ どうしろこし開発計画

49年度迄の経過	50年3月、開発技術事前調査及び開発協力基礎調査を実施
----------	-----------------------------

昭和50年度の調査ステージ及び予算	開発技術実施計画 (392) 開発協力計画 (3,091)
調査実施方針	当面、技術協力プロジェクトの計画作成を目途に調査を進める。開発協力計画調査については、今後、検討する。

④ ブラジル農業開発

49年度迄の経過	50年2～3月、開発技術事前調査及び開発協力基礎調査を実施
50年度の調査計画及び予算	計画打合せ(予算未定) <ul style="list-style-type: none"> → 開発技術実施調査(2,489) → 開発協力計画調査(2,334)
実施方針	開発協力について民間の協力体制作りを行い、年度内に計画調査を実施するとともに、政府ベースの技術協力計画の作成を急ぐ。

⑤ マダガスカル畜産開発

49年度迄の経過	48年9月 開発技術事前調査を実施
50年度の調査計画及び予算	開発技術実施計画調査(繰越 631) → 同実施調査(繰越1,690) → 同計画打合せ 開発協力基礎調査(繰越1,132)
実施方針	できるだけ早く、開発技術実施計画調査を実施し、政府ベースの技術協力計画(ディエゴファーレス地域を中心とする)の作成を進めるとともに、あわせて民間協力の可能性を検討する。

④ フィリピン、パンドバンガン林業開発

50年度の調査 計画及び予算	開発協力基礎調査 (繰越実施中)(2,501) → 開発協力計画調査(3,064) → 開発技術事前調査(475)
実施方針	実施中の基礎調査に引き続き、計画調査を進めるとともに林業技術協力のプロジェクトの実施の可能性について検討する。

⑦ インドネシア・コタビナン林業開発

50年度の調査 計画及び予算	開発協力基礎調査 (繰越 427) → 開発協力基礎調査(2次) (2,318)
実施方針	インドネシア政府からの要請に基づき、基礎調査の実施を準備する。5月下旬実施予定。

⑧ インドネシア・南スラウェシ農業開発

49年度迄の経過	49年12月、農業協力のプロジェクトファイディング調査実施
50年度の調査 計画及び予算	農業協力予備調査 → 同実施計画調査(735) → 同実施調査(2,383)
実施方針	インドネシア政府は今後の開発については、地域総合開発計画を作成し、これに基づくプロジェクトを順次実施していく方針を持ち、協力要請の内容も地域総合開発計画の作成からその中でプロジェクト協力のものにわたるとみられるので、これに対応する形での計画を検討する。

⑤ パプア・ニューギニア マダニ林業開発

50年度の調査 計画及び予算	開発協力基礎調査(2次) → 開発計画調査 (繰越 1,528) (10,322)
実施方針	早急に基礎調査の実施を検討する。5~6月実施。

⑥ インドネシア・ワイラレムアブシ開発調査

50年度の調査 計画及び予算	開発調査実施調査 (2,500)
実施方針	49年度の地形図作成に引き続き、実施調査を早期に実施する。5~6月実施。

(2) プロジェクトの発掘、確認を行う案件

① プロジェクトの確認を行う案件

案件名	50年度の調査計画及び予算	備 考
ア エクアドル 農業開発	開発協力基礎一次調査 → 同基礎二次 (繰越 604) (848)	6月初旬一次調査の実施を目途に準備する。
イ コロンビア 農業開発	開発協力基礎二次調査(繰越1,231)	6月初旬二次調査の実施を目途に準備する。
ウ メキシコ 畜産開発	開発技術事前 → 開発協力基礎二次 (繰越529) (3,426)	当面、開発技術事前調査の早期実施のため準備する。
エ、インドネシア・ワイ・ウンプ ・ワイフングブアン	農業協力実施調査(2,383)	

② 農業協力事前調査

案 件 名	50年度の調査予定及び予算	備 考
ア. 中南米プロジェクト ファイナディング	農業協カプロジェクトファイナディング調査 (496)	49年度のプロファイ調査結果に基づき、早急に具体的地区調査を実施する。
イ. サウジアラビア予備調査	農業協力予備調査(496)	
ウ. タイ農業開発予備調査	農業協力予備調査(496)	

③ 開発技術協力事前調査

案 件 名	50年度の調査予定及び予算	備 考
ア. フィリピン飼料作物	開発技術事前調査(475)	
イ. インドネシア浅海養殖	開発技術事前調査(475)	

④ 開発協力基礎(一次)調査

案 件 名	50年度の調査予定及び予算	備 考
ア. スリランカ農業開発	開発協力基礎(一次)調査(438)	
イ. 北ヴェトナムとうもろこし開発	開発協力基礎(一次)調査(438)	
ウ. ブラジル・ベレン森林開発	開発協力基礎(一次)調査(452)	

(3) 開発調査事業

① 継続案件

案件名	調査予定及び予算	備考
ア. インドネシア、フィアラムアブンかんがい計画	開発調査実施 (2,500)	前掲
イ. ペルー - 漁業基地	開発調査実施 (3,000)	49年度事前調査実施

② 新規案件

新規については具体的実施案件は決定していないが、次のような案件について実施の準備を進め、熟度に応じて実施する。

- ア. ガーナ農業開発 実施調査
- イ. 北イエメン農業開発 実施調査
- ウ. フィジー林業開発 実施調査
- エ. インドネシア・ピラボマかんがい 実施調査
- オ. ペルー - 農業開発 事前調査
- カ. インドネシア林業開発 事前調査
- キ. メキシコ、フィリピン、スリランカ 海洋資源調査

(4) 農業協力基礎調査

- ① 計画基準作成調査 (農業機械) (1,997)
- ② 開発実態調査 (アメリカ-中南米) (723)
- ③ 開発基礎調査 (砂漠開発) (1,406)
- ④ 現地研修のための調査 (繰越分) (737)

(5) 按融資審查等調查

① 49年度繰越	6件	(1,228)
② 50年度	7件	(1,724)

エ. プロジェクト運営計画

(1) 農業協力事業 29

(1) 継続開発プロジェクト 29

ア インド農業普及センター 29

イ. タイ・養蚕開発 32

ウ. スリランカ・デワフク村落開発 34

エ. インドネシア・タジユム地区農業開発 36

オ. ネパール・ジャナカプール、チトワソ農業開発 38

カ. インドネシア、ランボン農業開発 41

キ. バングラデッシュ農業開発 43

ク. イラン・シスタン農業開発 45

ケ. ブラジル・リベイラ農業開発 47

コ. クンザニア・キリマンジェロ農業開発 49

サ. マレーシア農業機械化 51

シ. ラオス・タゴン地区農業開発 53

ス. インド・グソグカラニア農業開発 55

(2) 継続研究プロジェクト 57

セ. ベトナム・カントー大学 57

ソ. インドネシア農業研究協力 59

タ. インド農業研究協力 61

チ. 韓国農業研究協力 63

(3) 新規開発プロジェクト 65

ツ. インドネシア・南スラウェシ農業開発 (省略)

テ. フィリピン、カガヤソ農業開発 (省略)

ト. インドネシア養蚕開発 65

(4) フォローアッププロジェクト 67

ナ. インドネシア、西部ジャワ食糧増産 67

ニ. フィリピン稲作開発 69

(2) 開発技術協力事業 71

ア. インドネシア・ランボン農業開発 71

イ. タイ一次産品 (オイルシードラボラトリー) 開発協力 72

ウ. " (大豆) 開発協力 74

エ. カンボディア・とうもろこし開発協力 76

オ. タイ・エビ養蚕開発 78

(3) 調査関係実施計画表 80

① 農業協力事業 80

② 開発技術協力事業 81

本 務	計 画 概 要
	<p>スペアパーツを主に購送する。</p> <p>50年度分については、相手国政府よりの要請リスト早期取付を図り本年度中に実施したい。</p> <p>(機材供与費 50年度分 15,000千円、前年度よりの繰越分 22,600千円)</p>
(3) 研修員の受け入れ	<p>相手国の正式要請書の提出が遅れており、事実上実施不可能となっている。</p>
(4) 調査団の派遣	<p>エバリエーション調査団の派遣を予定している。第2次センター(コポリ、マンディア)の評価と、既に協定終了に人員3名 期間35日とする。</p>
(5) 業務運営、その他	<p>業務を相手国側に円滑に引継ぎ、総合報告書の作成等、協定終了にともなう処理事項を前広に進めることを基本とする。</p> <p>1) 供与機材要請リストの取付を急ぎ、年度内実施を目途にできるだけの努力をしたい。</p> <p>2) 供与内容としては、スペアパーツのみとする。</p>

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査田漁				人模依服	打合仕 (35日 3人)			帰国報告					
専門系派遣													
(継続) 子-フド心計-	1										帰国 12/18		
リ-ダ-	2										12/12		
農米機械	4										12/12		
かんかん	11										12/12		
音	反										12/12		
裁	培										12/12		
俵与林村	(繰越) (50年度分)			仕探者	入札	製作	調査	検査	船積	現地			
				仕探者	入札	製作	調査	検査	船積	現地			
研修員反入札													
短期(上級・中級) 2名	} 時期未定												
長期 10名													

R/D 協力期間 { 44.3.7 ~ 47.3.6
 47.3.8 ~ 50.3.7
 50.3.8 ~ 53.3.7

R/D 定員 7名

4. タイ養蚕開発計画

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>継 続 5名 稚蚕飼育、蚕品種改良、桑栽培</p> <p>帰 国 1名 養蚕経営調査 ~ 50.9.24</p> <p>交 替 2名 蚕種製造、蚕病・桑病 51.3.7~</p> <p>新 規 2名 団長、製糸 50.4.1</p>
(2) 機材供与	<p>第3次協力の重点事業である養蚕パイロット村の設立、サブセンター施設の充実に必要な機材を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 49000円)</p>
(3) 研修員受入	<p>個別研修 5名 6カ月 (蚕種 4名、製糸 1名)</p>
(4) 調査団の派遣	<p>50年7月初旬 計画打合せ調査団(繰越)を派遣し、第3次協力にかかる具体的協力計画について、タイ側関係者と協議する。又、巡回指導調査団を51年3月に派遣する。</p>
(5) その他	<p>(1) 現在までの協力事業にかかる総合報告書を作成する。</p> <p>(2) 1975年次研究報告書(英文)を作成する。</p> <p>(3) タイ政府より、製糸工場設立にかかる協力要請があり、日本側の協力分野等を検討する。</p>

7. スリランカ・デワフワ村落開発計画 (協定期間 45.10.19 ~ 50.10.18)
 (協定上の定員 7名)

業 務	計 画 概 要 お よ び 問 題 点
(1) 専門 家 派 遣	<p>区 分 人 数</p> <p>帰 国 6 名</p>
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは、今年で協定の最終年度であり、この為の機材として既供与機材の補充部品、肥料、農具等農業用資機材および普及指導用機材を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 50,000千円、前年度よりの繰越分 58,227千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入	<p>個別研修として農業土地省次官の受入れ、集団研修として農業普及2名、農業機械1名 かんがい排水1名 農業協同組合1名 を受入れる。</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>本プロジェクトは、50.10.18 に協定満了となるので、満了以前にエヴァリュエーション調査を実施し、評価を行なうと共に、協定終了後の問題につき、スリランカ側と協議し、今後のプロジェクトの方向づけを行なう。</p>
(5) 業 務 運 営 そ の 他	<p>(1) 過去の協力実績をもとに、EJ・リース共同で作成される最終報告書を印刷し、今後の協力への一助とする。</p> <p>(2) 2年続きの天候不順が、プロジェクト運営を困難なものにしている状況の中で、本プロジェクトをどのようにエヴァリュエートするか、その方法について検討する。</p>

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査田派遣				人選級段打合せ 2日間		報告書				報告書完成			
専門家派遣													
園長兼栽培	(継続)							10.18					
農機	(")												
かんがい	(")												
水	(")												
調整	(")												
供与機材	49年度繰越	仕様書作成		同左契約課	入札 入札機材作成				検収	納付	現地		
	50年度				実施計画作成 (同左外務省)	仕様書作成	同左契約課	入札 入札機材作成					(検収)
高級 1名			10日間										
研修員受入れ 一般 (集団)													
かんがい排水 1名													
農薬普及 1名													
農機 1名													
農業協同組合 1名													

エ、インドネシア アジム・パイロット計画

(協定期間 48.2.16 ~ 49.2.15)
 (定員 3)

区 分	計 画 概 要																		
(1) 専門家派遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="899 604 1350 661">区 分</th> <th data-bbox="1350 604 1617 661">頁 数</th> <th data-bbox="1617 604 2033 661">年 月 日</th> <th data-bbox="2033 604 2522 661">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="899 661 1350 787">継 続 (長期)</td> <td data-bbox="1350 661 1617 787">2</td> <td data-bbox="1617 661 2033 787">51.2.15まで</td> <td data-bbox="2033 661 2522 787"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="899 787 1350 850">(短期)</td> <td data-bbox="1350 787 1617 850">2</td> <td data-bbox="1617 787 2033 850">(50.3.28~50.5.27)</td> <td data-bbox="2033 787 2522 850"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="899 850 1350 955">新 規 短 期</td> <td data-bbox="1350 850 1617 955">1</td> <td data-bbox="1617 850 2033 955">(50.9~3ヶ月)</td> <td data-bbox="2033 850 2522 955">(上水道修理)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	頁 数	年 月 日	備 考	継 続 (長期)	2	51.2.15まで		(短期)	2	(50.3.28~50.5.27)		新 規 短 期	1	(50.9~3ヶ月)	(上水道修理)		
区 分	頁 数	年 月 日	備 考																
継 続 (長期)	2	51.2.15まで																	
(短期)	2	(50.3.28~50.5.27)																	
新 規 短 期	1	(50.9~3ヶ月)	(上水道修理)																
(2) 機械供与	本年度中に協定が満了するため、既送分のスペアパーツ及び将来のセンターの性格にあわせて機材を購送する。 (機材供与費 50年度分 15,000千円)																		
(3) 研修員受入	実地研修コース かんがい排水、農業協同組合に各1名ずつ受入れる。																		
(4) 調査団	協定終了に伴い、プロジェクトのイバリエーションのため調査団を派遣する。(10月頃) 3人35日																		
(5) その他																			

求 務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3	
調 査 団 派 遣									← 工場の工-102					
専 門 家 派 遣														
長期 { 農業技術(団長) { 農業普及 短期 { 水 管 理 { 農業機械 { 上水道修理	(継続)												→ 帰国	
	(")													→ "
	→ 帰国													
	→ 帰国													
						推定人依頼 打合せ								
供 与 機 材			実施計画書作成	仕様書作成		入札	製作・調達・検収			船積 輸送				
研 修 員 受 入 札														
... 農業協同組合 1名														
かんがい排水 1名														

オ. パーソナル農業関係計画

業 務	計 画 概 要				
(1) 専門家派遣	(長期) 継続	職 種	人 数	出 発 済 および 予定	
		区 分			
		チーフアドバイザー	(1)	47. 6. 16	51. 11. 26
		リポーター	(1)	47. 6. 16	52. 5. 6
		業務調整	(1)	49. 10. 2	51. 10. 1
		農業普及	(1)	47. 3. 30	52. 5. 6
		農業機械	(1)	47. 6. 16	52. 5. 6
		農業技術	(1)	47. 10. 31	51. 3. 30
		農場経営	(1)	48. 3. 21	50. 11. 6
		かんがい	(1)	49. 10. 2	51. 9. 30
	建築設計	(1)	48. 3. 21	50. 11. 6	
	新規	農業技術	(2)	50. 7. 15	
		農業普及	(1)	50. 9. 1	
		農民組織	(1)	50. 9. 1	
		かんがい	(1)	50. 9. 1	
(短期) 帰国	深井戸掘り技術	(4)	49. 11. 30		
	新規	深井戸掘り技術	(4)	50. 10. 1	
農業技術		(1)	50. 10. 1		

業 務	計 画 概 要
(1) 機 材 供 与	<p>昭和49年度分が繰越となっているが、深井戸掘さく計画関連資材を主に、70,288千円を供与する。本年度分(予算 122,000千円)は、深井戸追加資材を若干と、プロジェクトの本格的実施にあたり、農業資機材を重点的に供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 122,000千円、前年度よりの繰越分 70,288千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入 け	<p>深井戸掘削 個別研修 3名 高級管理者 1名 上・中級技術者 2名</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	
(5) 業 務 運 営、そ の 他	<p>深井戸かんがい地区の自噴水量が計画水量を下回ることに對する修正計画を早期策定し、計画全体に遅延の及ぶことなきようにしたい。</p>

業務	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査団派遣													
専門家派遣 (継続) 1. チーフアドバイザー 2. プロジェクトリーダー 3. 普及員 4. 農機 5. 農機 6. 農場経営 7. かんがい 8. 調整 9. 施設設計 (新規) 1. 農機 2. 普及員 3. 普及員 4. 農機 5. かんがい (短期) 深井戸掘削(4) 農機技術													
(繰越) 供与機 (50年度)	仕様書作成 製作調査検査 船積 現地												
研修受入れ 深井戸掘削 個別(3) 高級管理者 1名 上・中級技術者 2名	実施計画作成 仕様書 入札 製作 調査検査 船積 現地												
	時期未定												

カ. インドネシアラソン農業開発計画 (協定期間 47.11.14 ~ 52.11.13) (注) 開発技術協力事業分を含む
 協定上の定員 15名

業 務	計 画 概 要																											
(1) 専門家派遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1003 527 1139 562">区 分</th> <th data-bbox="1279 527 1445 562">職 種</th> <th data-bbox="1673 527 2012 562">出発済および予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1003 590 1139 625">継 続</td> <td data-bbox="1329 590 2510 632">7名 (団長、土壌肥料、かんがい4名 (以上農業協力)、畑作栽培 (開技))</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 659 1139 695">交 替</td> <td data-bbox="1270 659 1445 695">農業経営</td> <td data-bbox="1694 659 1970 695">50.5.8 (開技)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 709 1584 745">農業普及 (2名)</td> <td data-bbox="1694 709 2228 745">50.5.8 (開技) 50.12 中旬</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 760 1445 795">業務調整</td> <td data-bbox="1694 760 1970 795">50.4.24 (開技)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 810 1445 846">低地栽培</td> <td data-bbox="1694 810 1952 846">50.6.下旬 (農)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 861 1445 896">病虫害管理</td> <td data-bbox="1694 861 1952 896">51.3 上旬 (〃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 911 1445 947">栽 培</td> <td data-bbox="1694 911 1952 947">50.12 中旬 (〃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1270 961 1445 997">農業機械</td> <td data-bbox="1694 961 1970 997">50.12 中旬 (開技)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職 種	出発済および予定	継 続	7名 (団長、土壌肥料、かんがい4名 (以上農業協力)、畑作栽培 (開技))		交 替	農業経営	50.5.8 (開技)		農業普及 (2名)	50.5.8 (開技) 50.12 中旬		業務調整	50.4.24 (開技)		低地栽培	50.6.下旬 (農)		病虫害管理	51.3 上旬 (〃)		栽 培	50.12 中旬 (〃)		農業機械	50.12 中旬 (開技)
区 分	職 種	出発済および予定																										
継 続	7名 (団長、土壌肥料、かんがい4名 (以上農業協力)、畑作栽培 (開技))																											
交 替	農業経営	50.5.8 (開技)																										
	農業普及 (2名)	50.5.8 (開技) 50.12 中旬																										
	業務調整	50.4.24 (開技)																										
	低地栽培	50.6.下旬 (農)																										
	病虫害管理	51.3 上旬 (〃)																										
	栽 培	50.12 中旬 (〃)																										
	農業機械	50.12 中旬 (開技)																										
(2) 機材供与	<p>協定締結後4年度目をむかえるが、この間農業普及センター建設、Large Demo Farm 建設等の資機材、普及関係資機材を購送してきたが、50年度はこれら施設を充実させるための補足資機材の購送と共に、一大農業普及活動を展開するために栽培普及関係の資機材を基本として供与する。(農業機械供与費 50年度 103,000千円 49年度繰越分 65,632千円)</p> <p>(開発技術 50年度 80,000千円 49年度繰越分 68,743千円)</p>																											
(3) 研修員受入	<p>集団研修2名を予定</p>																											
(4) 調査団派遣	<p>巡回指導調査団を派遣し、プロジェクトの進捗状況、運営状況等を把握するとともに問題点の指摘、指導を行う。(50.2月予定)</p>																											
(5) 業務運営その他	<p>Large Demo Farm の圃場整備建設費が表土扱い等のため、建設費の増大を招き、現地に適した圃場整備のあり方を検討の用あり。</p> <p>とうもろこしのべト病対策並びに現地に適した畑作作目の検討</p>																											

キ. バングラदेश農業開発計画 (合意議事録(R,D)期間 昭和50年4月14日～52年4月13日)

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>継 続 な し</p> <p>新 規 (長期) 6名 (チームリーダー、チームリーダー、普及、農業機械、栽培、業務調整)</p> <p> (短期) 1名 (土地改良) 6カ月</p>
(2) 機材供与	<p>無償協力による中央普及研究所の設立が予定されており、それに伴う研究機材、視聴覚機材、訓練用機材、車輛、作業場設備等を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 85,000千円 前年度よりの繰越分 64,464千円)</p>
(3) 研修員受入	<p>上級技術者の短期 1名 長期集団 2名</p>
(4) 調査団の派遣	<p>新R、D締結による今後の協力の方針打合せのため8月に巡回指導調査団を派遣する。</p>
(5) その他	

業務	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	61	2	3
調査団派遣				人選 決定	打合せ	(3週間5人)	29日24日 報告会						
専門家派遣	長期	千-フクハ研- 田長 普及 家来機械 栽培 調整員	植世人依頼	打合せ (新規)									
				(")									
	短期	土地改良		(")									
				(")	植世人依頼	打合せ							
						(新規)							
供与機械			実施計画作成	(同在外務省)	仕様書作成	同左契約	入札	メ-カ- 機材作成		(検収)	船積	現地	
研修員受入れ													
	短期	(上級技術者) 1名	(時期未定)										
	長期	2名	(")										

ク. イラン・シスタン農業開発計画

業 務	計 画 概 要 お よ び 問 題 点				
(1) 専門家派遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="914 558 1240 600">区 分</th> <th data-bbox="1240 558 2531 600">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="914 621 1240 663">新 規</td> <td data-bbox="1240 621 2531 663">3 名 (団長 かんがい排水、企画調整)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 数	新 規	3 名 (団長 かんがい排水、企画調整)
区 分	人 数				
新 規	3 名 (団長 かんがい排水、企画調整)				
(2) 機材供与	本プロジェクトについては、本年度5月に R/D を締結する予定であり、機材供与は、それに従って試験研究機材等を中心に供与する予定 (供与機材費 50年度分 60,000千円)				
(3) 研修員受入	個別研修員 2名 予定 (長期)				
(4) 調査団の派遣	昨年度派遣された実施設計調査団の調査を基礎に、5月末に計画打ち合せ調査団を派遣し、R/D を締結する。				
(5) 業務運営 その他	5月末に締結予定の R/D にもとづき、研究センターの建設に対する指導、助言および研究体制整備のための情報収集を行うため、7月から3名の専門家を派遣する予定				

業務	月	50	4	5	6	7	8	9	10	11	12	51	1	2	3
調査団派遣					推定人依頼 4	打合せ 3名	15日 報告会								
専門家派遣 団長 かんかん排水 企画調整								推定人依頼	打合せ						
								推定人依頼	打合せ						
									打合せ						
供与機材												実施計画作成	(同在外訪省)		
研修員受入れ 長期 (個別)	2名	(時期未定)													

ケ、ブラジル・リベイラ河流域農業開発

業 務	計 画 概 要 お よ び 問 題 点		
(1) 専門家派遣	<p style="text-align: center;">区 分</p> <p>新規 (プロシコリター・テクニカルパートナー (計画調整員)</p> <p>(栽培、農業土木工、農業機械)</p>	<p style="text-align: center;">頁 数</p> <p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">4</p>	<p style="text-align: center;">年 日 日</p> <p style="text-align: center;">50年10月上旬</p> <p style="text-align: center;">51年1月下旬</p>
(2) 機材供与	<p>49年度予算 65,780千円を繰越して、土木用機材を中心に購送する。</p> <p>又、50年度は、繰越分に引続き、農業開発センターの試験圃場の造成・整備に重点をおき、土木用機材を中心に購送する。</p> <p style="text-align: center;">(機材供与 50年度分 49,000千円、前年度よりの繰越分 65,780千円)</p>		
(3) 研修員受入	<p>個別研修として高級および一般各1名を受入れる。</p>		
(4) 調査団派遣	<p>計画打合せチーム (49年度繰越分)</p> <p>巡回指導調査団</p>	<p style="text-align: center;">3人 14日間</p> <p style="text-align: center;">5人 35日間</p>	<p style="text-align: center;">7月上旬</p> <p style="text-align: center;">51年3月下旬</p>
(5) 業務運営その他	<p>50年3月に署名された R/D 及び技術協力基本協定をベースに、交換公文による正式な補足取極めの早期締結。</p>		

コ. タンザニア、キリマンジャロ農業開発計画 (R/D 協力期間 49.12.2 ~ 51.12.1)
 (R/D 定員 8名)

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>継 続 2名 水資源、調整</p> <p>交 替 1名 調 整 51.3.13 ~</p> <p>新 規 { 6名 第1次 4名 プロジェクトリーダー 栽培2 かんがい 50.7.1 ~ (かんがいは50.8.1 ~)</p> <p>第2次 2名 土壌、農業経済 50.10.1 ~</p> <p>5名 短期 (畜産 1名 50.10.1 ~ 地下水調査 4名 51.3.1 ~)</p>
(2) 機材供与	<p>農業試験研究、水資源調査、農業基礎調査に必要なトラクター、ゾープロ、農業気象観測装置等の資機材を供与する。(機材供与費 50年度分 71,000円、前年度より繰越分 34,960円)</p>
(3) 研修員受入	<p>個別研修 2名 / 1ヵ月 (農業事情視察) 時期未定</p>
(4) 調査団の派遣	<p>(1) 50年10月 実施設計調査団を派遣し、ミワレニ地区の圃場設計等を行なう。(繰越)</p> <p>(2) 51年2月 巡回指導調査団を派遣し、試験研究等の協力方針について専門家と協議するとともに第2次協力の構想等についてタンザニア政府関係者と協議する。</p>
(5) その他	

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査田 派 遣													
専門家派遣	(継続)												
水資源開発 業務調整 プロジェクト													
長期													
栽培													
栽培													
かんがい													
土壌肥料													
農業経済													
短期													
畜産													
地下水(4名)													
供与機材	繰越												
仕様書作成													
契約課													
入札													
機材完成													
船積													
現地													
検収													
同契約書入札													
同外務省													
仕様書作成													
(検収)													
船積													
研修員受入れ													
短期(上・中級技術者)2名 (4月)	(昨期未定)												

廿、マレーシア稲作機械化訓練計画
 協定期間 45.12.29 ~ 48.12.28
 48.12.29 ~ 50.12.28
 協定上の定員 2名

業 務	計 画 概 要 お よ び 問 題 点
(1) 専門家派遣	<p>区 分 職 種</p> <p>帰 国 1 名 (農業機械) (50.12.28 帰国)</p>
(2) 機材供与	<p>本プロジェクトは、48年12月に当初の協定期間が満了となり、その後2ヶ年協定を延長し、フォローアップ協力を行っている。この為の機材として既供与済機材の補充部品を中心として供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 15,000千円、前年度よりの繰越分 55,200千円)</p>
(3) 研修員受入	<p>集田研修として農業機械整備 1名を受入れる。(6ヶ月)</p>
(4) 調査田の派遣	<p>本プロジェクトは、50.12.28に2ヶ年の協定延長期間満了となるので、満了に先立ちエグザリュエーション調査を実施し、評価を行なう。</p>
(5) 業務運営 その他	<p>(1) 今迄の協力実績を基として作成される専門家の Text Book を印刷し、今後のセンター運営に資する</p> <p>(2) 供与機材の使用、管理要綱作成への協力</p>

業務	月	40	4	5	6	7	8	9	10	11	12	51	2	3
調査団派遣						人選依頼	打ち合せ		報告会		報告書完成			
								エバリュエーション調査						
専門家派遣														
農機機械 1名	(継続)										(帰国)			
供与機材	49年度 第2次分	(契約済)		契約		機材作成								
	50年度供与機材			実施計画作成(同左)		機材作成(同左)		機材作成(同左)	入札		(検収)			船積
													(検収)	船積
研修員受入れ														
農機機械整備コース 1名								6ヶ月間	日本農機工業会					

シ. ラオス・タゴン農業開発計画

前協定期間 45.4.24~50.4.23
協定上の定員 7名

延長による協定期間 50.4.24~52.4.23
(交換公文)
短期追加派遣可能

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>継 続 (長期) 2名 (団長 (10月帰国))</p> <p>交 替 (長期) 6名 (栽培、農業機械、かんがい、普及未定業務調整)</p> <p>新 規 (短期) 1名 (ポンプ修理)</p>
(2) 機材供与	<p>本年4月に協定が延長され、これとともに新しい協力計画の策定を行うため、本年5月に計画打合せ調査団を派遣する予定である。この新しい協力計画に基づき、前年度繰越予算、本年度予算にて必要な機材を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 15,000千円、前年度よりの繰越分 66,200千円)</p>
(3) 研修員受入れ	<p>短期 1名 長期 2名</p>
(4) 調査団の派遣	<p>本年4月24日より前協定が2カ年間延長され、事業の現況把握と延長期間に於ける事業計画の策定のため、50年6月に計画打合せ調査団を派遣する。</p>
(5) その他	

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査団派遣			人選依頼	打合せ (10日頃4名) 21日頃 報告会									
専門家派遣 長期 { <ul style="list-style-type: none"> 田長 農業機械 栽培(稲作) かんがい 業務調整 普及(派遣決定) 					7.23帰国	人選依頼	打合せ	10.24帰国					
		4.23帰国	人選	打合せ									
		人選	打合せ										
		人選依頼	打合せ										
		人選	打合せ										
		人選依頼	打合せ	(30日頃1名)	21日頃	報告会							
供与機材				実施計画	(同在外務省)	仕根音	同在外務省の課へ札	1-カ-機材作成				船荷 (換収)	現地
研修員受入れ													
		短期 1名	} 時期未定										
		長期 2名											

ス、インド、ダングカラニヤ農業開発

協同期間 45. 8. 17 ~ 50. 8. 18

協定上定員 7名

業 務	計 画 概 要
(1) 専 門 家 派 遣	帰 国 8名 (50. 8. 18)
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは50年8月、協定満了となるが、パラルコート地区基盤整備事業に必要なポンプ施設、リッジャー、農薬、肥料、等の資機材を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 15,000千円、前年度よりの繰越分 76,000千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入	個別研修 農業普及1名、農協1名、各3カ月
(4) 調 査 団 の 派 遣	50年6月初旬、エバリュエーション調査団を派遣し、協力事業の評価、問題点の分析を行なうとともに、フォローアップの必要性等を検討する。
(5) そ の 他	<p>(1) インド政府より非公式に協定延長の要請があり、検討中。</p> <p>(2) 総合報告書を作成する。</p>

② 継続研究プロジェクト

セ. ヴェトナム カントウ大学農学部協力計画

(協定期間 45.3.7 ~ 48.3.6
48.3.7 ~ 51.3.6
協定上の定員 4名)

業 務	計 画 概 要 お よ び 問 題 点						
(1) 専 門 家 派 遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>職 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>帰 国</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>交 替</td> <td>2 名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職 種	帰 国	4 名	交 替	2 名
区 分	職 種						
帰 国	4 名						
交 替	2 名						
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは、今年で協定期間の最終年度を迎えるが、過去の分野別供与実績を踏まえ農学部将来計画に沿って、農学、育種、畜産分野を中心に実験用、試験用機材を供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 55,000千円, 前年度よりの繰越分 65,632千円)</p>						
(3) 研 修 員 受 入	<p>長期3名 (内、1名は49年度から継続)</p>						
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>本プロジェクトは、51年3月6日に協定満了となるので、満了以前にエヴァリュエーション調査を実施し、評価を行なうと共に、協定満了以後の協力方式についてヴェトナム側と協議する。</p>						
(5) 業 務 運 営 そ の 他	<p>(1) 協定の最終年度でもあり、過去の協力実績をもとに作成される各専門毎の <i>Text Book</i> を印刷し、今後の協力に資する。</p> <p>(2) 問題点としては、南ヴェトナム政府の交代にともない、今後のヴェトナムの政情がどのように変化するのか見通しがつかない為、今年度の計画も建てにくい状況である。</p>						

業 務	月	50	5	6	7	8	9	10	11	12	51	2	3
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
専 門 家 派 遣													
継 続・帰 国 4 名		1名	5.9	1名 5.29									
新 規 交 替				1名 6.8									
機 材 供 与													
49 年 度 (繰 越) 供 与 機 材			仕 様 作 成	入 札	製 作・調 達・検 査			船 積	輸 送				
			実 施 計 画		仕 様 作 成	入 札	製 作・調 達・検 査			輸 送			
研 修 員 受 入 れ													
継 続 1 名													
50 年 度 長 期 2 名													
調 査 団 派 遣													
エ ヴ ア リ ュ エ ー シ ョ ン 調 査													

ソ、インドネシア農業研究協力計画

(協定期間 45. 10. 23 ~ 50. 10. 22)
 (協定上の定員 4名、短期追加派遣可能)

業 務	計 画 概 要
(1) 専 門 家 派 遣	<p>継 続 (長期) 1名 (田長)</p> <p>交 替 (長期) 3名 (植物病理, 植物生理, 植物ウイルス)</p> <p>新 規 (長期) 2-3名 (Entomology, Ecology, Agronomy) *協定延長に伴う増 (短期) 2名 (超遠心機据付管理指導 1名, 1か月, CNコーダ-据付管理指導 1名, 1か月)</p>
(2) 機 材 供 与	<p>作物生理及び病理の試験研究のために供与された消耗品及び実験器具の補充を図るほか、研究の進展に伴う必要機材を新たに供与し、試験研究の充実を期することとする。 (機材供与費 50年度分 60,000千円, 前年度よりの繰越分 6,730千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入 れ	<p>病理関係 1名 (6カ月), 生理関係 2名 (6カ月)を農業技術研究所に受入れたい。又、準高級研修員 1名も受入れる。</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>本年10月22日をもって終了する協定期間後の取扱いを検討する必要があるため、50年5月下旬にエバリュエーション調査団を派遣する。</p>
(5) そ の 他	

タ インド 農業 研究 協力

業 務	計 画 概 要
(1) 専 門 家 派 遣	長 期 ; 病 害 虫 発 生 予 察 (植 物 病 理, ウ イ ル ス 病, 害 虫 2 名) 及 び、園 芸 (か ん き つ, 野 菜 育 種, 落 葉 果 樹 2 名) の 計 8 名,
(2) 機 材 供 与	病 害 虫、園 芸 各 部 門 に つ い て 必 要 資 機 材 を 供 与 す る。 (機 材 供 与 費 50 年 度 分 40,000 千 円, 前 年 度 よ り の 繰 越 分 32,044 千 円)
(3) 研 修 員 の 受 入 れ	病 害 虫 1 名, 園 芸 1 名 を そ れ ぞ れ 農 技 研 及 び 園 芸 試 験 場 に 受 け 入 れ たい。(各 1 年 間)
(4) 調 査 団	専 門 家 派 遣 前 に 細 部 実 施 計 画 を 樹 立 す る 必 要 が あ る の で、協 定 成 立 後 直 ち に 計 画 打 合 せ 調 査 団 を 派 遣 す る。
(5) そ の 他	本 年 4 月 中 に は、イ ン ド 政 府 内 部 を ク リ ア ー と の 情 報 が 入 っ て お り、5 月 協 定 成 立 を 目 途 に 計 画 を 進 め る。

業 務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調 査 団 派 遣			人員依頼	打合せ (30日間)	5名	報告会							
専 門 家 派 遣													
長期 { 植物病理 (B L B) ウイルス (R T V) 害 虫 (Leaf Hopper) 害 虫 (Gall Midge) かんきつ 野菜育種 落葉果樹 落葉果樹													
鉄 与 機 材													
研 修 員 受 入 れ 一 般 2 名 (個 別)													

4. 韓国農業研究協力

(協定期間 49. 6. 7 ~ 54. 6. 6)
(協定上の定員)

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>長期 1名 (団長)</p> <p>短期 11名 (水稲育種, 麦類育種, 薯類育種, 退化塩度改良, 水稲水管理, 作物栄養生理障害, 水田土壌・水管理, 麦類生理生態, 施設園芸開発, 水稲病害, 昆虫類発生予察)</p> <p>短期帰国 2名</p>
(2) 機 材 供 与	<p>7研究課題別に必要実験器機材を供与し、試験研究設備の充実を図るものとする。</p> <p>(機材供与費 50年度 60,000千円, 前年度よりの繰越分 45,740千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入 れ	<p>高級研修員3名を3週間受け入れ, 日本の農事試験研究機関及び研修員の研修状況を視察し, Projectの効果的運営を期する。</p> <p>一般研修員9名を受け入れる。期間は6か月~1か年間</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>50年度研究協力の成果検討及び51年度協力細部実施計画打合せのため、51年7月に計画打合せ調査団を派遣する。</p>
(5) そ の 他	<p>なし。</p>

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3	
調査団派遣(51'計画打合)										人選依頼	打合せ(14向5名)	とりまとめ	報告会	
											計画打合せ			
専門系派遣長期(団長)		リ-カ- 百足	志賀										50.2.27	
短期				法橋										
				薙刈, 中野, 堀, 四方										
					足立・高橋									
						六田								
										内藤			増田・武田 51.5.31	
供与機材	50年度分		実施計画書作成(同在外務局)	仕様書作成(同左契約課)	入札	開選	検収	搬入	現地					
	繰越分		第2回 調達	現地		第3回 調達			現地					
研修員受入れ	7部門・ 一般 9名 高叙					5名(7年)							3F	
							5名(1年)						51.4.30	
									1名(1年)					51.6.30
										2名(1年)				51.2.31
											1名(1年)			51.8.31
							3名(3週間)							

③ 新規開発プロジェクト

ト. インドネシア養蚕開発計画

業 務	計 画 概 要
(1) 長期調査員派遣	<p>帰国 2名 蚕病・桑病, 蚕飼育 50. 3. 31 ~ 51. 3. 30</p> <p>新規 1名 栽桑 50. 6. 1 ~</p>
(2) 機 材	<p>養蚕調査に必要なジープ等の携行機材を贈送する。(繰越予算 4300 円)</p>
(3) 研 修 員 受 入	<p>個別研修 2名 6カ月 (蚕飼育等)</p>
(4) 調 査 田 の 派 遣	<p>(1) 50年11月、実施計画調査田を派遣し、長期調査の報告をもとに、インドネシア政府関係者と養蚕開発協力計画について協議し、合意議事録 R/D を作成する。</p> <p>(2) 51年2月、計画打合せ調査田を派遣し、具体的協力計画(予算措置等)をインドネシア側と打合わせる。</p>
(5) そ の 他	

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査団派遣							人選依頼	打合せ	→	とりまとめ報告会 (実施計画)			
										人選依頼	打合せ	→	とりまとめ報告会 (計画打合)
長期調査員													
蚕病 桑病	←	継続											3/30 帰国
蚕飼育	←	継続											帰国
栽 桑		人選依頼	打合せ	出張									
供与機械													
研修員受入れ													
		2名、個別研修員(時期は未定)											

④ フォローアッププロジェクト

ナ インドネシア西部ジャワ食糧増産計画

(協定期間 43. 5. 29 ~ 46. 5. 28)
 (46. 5. 29 ~ 49. 5. 28)
 フォローアップ協 49. 5. 29 ~ 57. 5. 28)
 定 員 4 名

(注) 50年度分機材供与費は10%節約を行う必要がある。

業 務	計 画 概 要									
(1) 専 門 家 派 遣	<table border="0"> <tr> <td>区 分</td> <td>員 数</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>継 続 (CP)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新 規 (短期CP)</td> <td>3</td> <td>(農業経営 1人 6月中旬 農業普及、農業協同組合 10月)</td> </tr> </table>	区 分	員 数	年 月 日	継 続 (CP)	2		新 規 (短期CP)	3	(農業経営 1人 6月中旬 農業普及、農業協同組合 10月)
区 分	員 数	年 月 日								
継 続 (CP)	2									
新 規 (短期CP)	3	(農業経営 1人 6月中旬 農業普及、農業協同組合 10月)								
(2) 機 材 供 与	<p>フォローアップとして、既供与済機材のパーツを購送する。 (機材供与費 50年度分 15,000千円)</p>									
(3) 研 修 員 受 入	<p>兼田研修コース、農業普及、農機具修理、病虫害防除、農業協同組合に各1名ずつ受入れる。</p>									
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>なし、</p>									
(5) 業 務 運 営 そ の 他	<p>49年5月29日よりフォローアップ協力を実施しており、機材供与は原則として、既供与済機材のパーツに限られるが、既供与済機材の補充としてライスマル5台の購送要請がある。</p>									

業 務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査田派遣		なし											
専門家派遣													
長期	稲作栽培	(継続)											
	農業機械	()											
短期	農業経営		人選依頼				帰国						
	農業普及						人選依頼						帰国
	農業協同組合												帰国
供与機材			実施計画作成	仕様書作成		入札		製作・調達・検収		船積輸送			
研修員受入れ													
	農業普及												
	農機具修理												
	病虫害防除												
	農業協同組合												

ニ、フィリピン稲作開発（ミンドロ地区、レイテ地区）

協定期間 44. 6. 17 ~ 49. 6. 16
 フォローアップ協力 49. 6. 17 ~ 51. 6. 16
 定員 5名

業 務	計 画 概 要												
(1) 専門家派遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 介</th> <th>員 数</th> <th>年月日</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 続 (C.P)</td> <td>5</td> <td></td> <td>(普及了, 機材工)</td> </tr> <tr> <td>新 規 (C.P.短期)</td> <td>1</td> <td>未 定</td> <td>(rice mill 運転、修理)</td> </tr> </tbody> </table>	区 介	員 数	年月日	備 考	継 続 (C.P)	5		(普及了, 機材工)	新 規 (C.P.短期)	1	未 定	(rice mill 運転、修理)
区 介	員 数	年月日	備 考										
継 続 (C.P)	5		(普及了, 機材工)										
新 規 (C.P.短期)	1	未 定	(rice mill 運転、修理)										
(2) 機 材 供 与	<p>フォローアップとして、既供与済機材のパーツを購送する。(予算 15,000 千円)</p>												
(3) 研 修 員 受 入	<p>集団研修コース 農業普及コース 2名(ミンドロ、レイテ), 農機具修理 1名(レイテ), 粃精米 1名(レイテ), 病虫害防除 1名(ミンドロ), 農業協同組合 1名(ミンドロ) 計 6名を受入れる。</p>												
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>なし</p>												

業 務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3	
調査団派遣		なし												
専門家派遣	長期	ミンドロ	農業普及	(継続)										
			農業機械	(〃)										
		レイテ	農業普及	(〃)										
			農業機械	(〃)										
	短期	1名	時期未定											
	供与機材			← 実施計画	← 仕様書作成		← 入札		← 製作・調達・検収		← 船積	← 輸送		
研修員受入	ミンドロ	農業普及	←	→										
		病虫害防除	←	→										
		農業協同組合							←	→				
	レイテ	農業普及	←	→										
		農機具修理	←	→										
		籾精米							←	→				

(2) 開発技術協力事業

ア. インドネシア、ランポン農業開発

業務	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	51	2	3
調査団派遣													
専門家派遣	農業普及		5/8										
	畑作栽培												
	農業経営												
	農業機械												
	業務調整	4/14	4/24										
供与機械	80,000 千円 (49年度繰越 68,743 千円)			実施計画									
					仕様書作成								
						入札 入札 説明							
							機作	調達	検査				
										輸送			
研修員受入れ	長期 2名 (農業協力事業と同じ)												

イ、タイ一次産品開発協力（オイルシード、ラボラトリー）

業 務	計 画 概 要												
(1) 専 門 家 派 遣	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="991 625 1240 667">区 分</th> <th data-bbox="1299 625 1478 667">職 種</th> <th data-bbox="1516 625 1792 667">出 発 済 お よ び 予 定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="991 695 1130 737">継 続 帰 国</td> <td data-bbox="1299 695 1377 737">な し</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="991 764 1130 806">切 替</td> <td data-bbox="1299 764 1377 806">な し</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="991 833 1258 875">新 規 (短 期)</td> <td data-bbox="1299 833 1377 875">2 名</td> <td data-bbox="1516 833 1724 875">要 請 あり 次第</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職 種	出 発 済 お よ び 予 定	継 続 帰 国	な し		切 替	な し		新 規 (短 期)	2 名	要 請 あり 次第
区 分	職 種	出 発 済 お よ び 予 定											
継 続 帰 国	な し												
切 替	な し												
新 規 (短 期)	2 名	要 請 あり 次第											
(2) 機 材 供 与	な し、												
(3) 研 修 員 受 入	油脂分析 1名												
(4) 調 査 団 の 派 遣	な し												
(5)	(1) 本プロジェクトは49. 12. 31に終了したが、タイ国から要請あり次第、フォローアップのための短期専門家2名を派遣する。												

業 務 \ 月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調 査 団 派 遣	なし											
専 門 家 派 遣 短期 { 抽 出 油脂化学												
供 与 機 材	なし											
研 修 員 受 入 れ 一般 1名 (油脂分析)			通産省東京工業試験場									

ウ タイ大豆開発協力事業

業 務	計 画 概 要												
(1) 専 門 家 派 遣	<table border="0"> <tr> <td>区 分</td> <td>人 数</td> <td>出 発 済 お よ び 予 定</td> </tr> <tr> <td>帰 国</td> <td>2 名</td> <td>出 発 済</td> </tr> <tr> <td>交 替 (CP)</td> <td>2 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新 規 (CP)</td> <td>3 名</td> <td>(短 期)</td> </tr> </table>	区 分	人 数	出 発 済 お よ び 予 定	帰 国	2 名	出 発 済	交 替 (CP)	2 名		新 規 (CP)	3 名	(短 期)
区 分	人 数	出 発 済 お よ び 予 定											
帰 国	2 名	出 発 済											
交 替 (CP)	2 名												
新 規 (CP)	3 名	(短 期)											
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは、1977年3月をもって新品種の育成を達成する予定であるがこのためには50年度において、種子貯蔵用施設および種子鑑定用装置等を供与する必要がある。</p> <p>(機材供与費 50年度 10,000千円, 前年度よりの繰越分 2,200千円)</p>												
(3) 研 修 員 受 入	<p>研修員として、栽培又は採種1名、育種2名および根瘤菌1名の計4名を受入れる。</p>												
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>1977年3月の新品種育成のための技術指導等を行なうため、51年の乾期終了時(51年2~3月)に巡回指導班を派遣する必要がある。</p>												
(5) 業 務 運 営 そ の 他	<p>新品種の発表のために過去の実績を整理し、問題の指摘および今後なすべき事項を集大成し、今後の運営に資する。</p>												

エ. カンボディアとうもろこし開発協力事業

協定期間
(昭和49.11.1 ~ 52.10.31)

業 務	計 画 概 要
(1) 専 門 家 派 遣	<p>区 分 人 員 出 発 済 お よ び 予 定 帰 国 /</p>
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは49年11月1日に協定延長を行ない、今後3ヶ年の事業推進にあたり、実質的には第1年度であるが、既供与機材のスペアパーツおよび事業運営の基礎分野となる車両等を供与する必要がある。(機材供与費 50年度分 10,000千円, 前年度よりの繰越分 3,256千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入	<p>長期個別 1名</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>な し</p>
(5) 業 務 運 営 そ の 他	<p>カンボディア国の政情等を勘案し、現在までの協力の成果を築大成し、今後の事業運営の基本的事項を十分に認識し、円滑な推進を図る。</p>

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
調査団派遣		なし											
専門家派遣 長期-----栽培			5.10 →										
供与機材 (10,000千円)		未定											
研修員受入れ 長期(個別)7名		(時期は未定)											

オ、タイ、エヒ養殖開発 (協力期間 48.4.1 ~ 51.3.31)

業 務	計 画 概 要
(1) 専門家派遣	<p>区 分 職 種</p> <p>継 続 3 名</p> <p>帰 国 1 名 (51.3)</p> <p>新 規 (短期) 3 名</p>
(2) 機 材 供 与	<p>本プロジェクトは、本年度で協力終了となるので、過去の供与実績を検討のうえ、実験、試験用機材を中心に供与する。</p> <p>(機材供与費 50年度分 30,000千円, 前年度よりの繰越分 52,348千円)</p>
(3) 研 修 員 受 入	<p>高級 3名, 一般 3名,</p>
(4) 調 査 団 の 派 遣	<p>本プロジェクトは、51年3月31日に協力を終了する予定であるので、巡回指導を行うとともに、過去の協力の実績についてもエバリュエートし、今後の事業の実施方針等について、タイ国政府と打合せ。</p>
(5) そ の 他	<p>なし、</p>

業務	月	50 4	5	6	7	8	9	10	11	12	51 1	2	3
巡回指導班派遣						人選依頼	打合せ(20回9名)		20日までの報告会				
専門家派遣	長期	団長兼養殖	(継続)										2/31 帰国
		種苗生産	(〃)										〃
		〃	(〃)										〃
		〃	(〃)			7月初旬 帰国							
短期	1人(水理土木)		事前研修	語学研修		(交替)							3/31 帰国
	2人(養殖)	推し依頼	打合せ				報告会	推し依頼	打合せ		報告会		
供与機材			実施計画作成		同左外務省	仕様書作成		同左契約書	入札	機材作成	船積	現地	
										(検収)			
研修員受入れ	高級 3名 一般 3名								(3週間試験場視察)				
				鹿児島県水産試験場		鹿児島水産試験場		他の試験場見学					

(3) 調査関係実施計画表

① 農業協力事業

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	5/1	2	3
事前調査					4~5 weeks サウジアラビア		4~5 weeks (検) インドネシア、南スラウェシ	4~5 weeks タイ、農業開発		4~5 weeks 中南米地域		
実施計画調査						3~4 weeks フィリピン、カガマン		3~4 weeks インドネシア、養蚕	3~4 weeks インドネシア、南スラウェシ			
実施調査							4~5 weeks タンザニア、キルマンジャロ (緑越)	8~9 weeks インドネシア、バンブングブアン		8~9 weeks インドネシア、南スラウェシ	8~9 weeks フィリピン、カガマン	
巡回指導			3~5 weeks 栽培分野	3~5 weeks 農業土木分野	3 weeks バングラデシュ						3~4 weeks ランボーン	4~5 weeks フィリピン、バタビ
計画打合せ			10 days ラオス、ダゴン	2~3 weeks ランシスタン (緑越)	2~3 weeks インド農耕	2 weeks ブラジル、カピタ (緑越)	3~4 weeks タイ、養蚕			1~2 weeks インドネシア、養蚕	10 days 韓国、徳研	
エバリユエーション			3~5 weeks インド、ダシカラニア	3~5 weeks スリランカ、デワワ	4~5 weeks インド、センター	3~5 weeks マレーシア、機械化	3~5 weeks インドネシア、タジユム	3~5 weeks バトナム、カントー大				
基礎調査			2~4 weeks インドネシア、農研		3~5 weeks 計画、基準作成			3 weeks 現地研修			5~6 weeks 開発実態調査	
技術者連絡会議						3~5 weeks 開発基礎調査			1~2 weeks 普及、栽培	1~2 weeks リーダー		

② 開発技術協力事業

業務	月	50	4	5	6	7	8	9	10	11	12	51	1	2	3
事前調査							4~5 weeks メキシコ畜産 (繰越)	4~5 weeks フィリピン飼料		4~5 weeks インドネシア 浅海養殖	4~5 weeks フィリピン 木材加工				
実施計画調査								3~4 weeks マダガスカル 畜産 (繰越)			4~5 weeks タイ・どろこし				
実施調査									7~8 weeks ブラジル 一次産品		4~5 weeks マダガスカル畜産開発 (繰越)				
巡回指導									4~5 weeks タイ・どろこし				4~5 weeks タイ一次産品		
計画打合せ															1~2 weeks マダガスカル 畜産

3. 専門家養成確保事業計画

項 目	50 年 度 の 計 画		備 考
	予 算 額	内 容	
(1) 専門家の登録	4円 727	1、登録予定人員 100名 2、対象分野 畑作及び林業分野 3、選考方法 第一次書類選考 第二次面接 4、登録の決定 選考委員会を設け、本委員会が決定する。 5、登録事務 登録決定者について、カードを作成して保管する。	担当課：農林業計画調査部調査役
(2) 専門家の確保	44,160	農林業開発協力事業に必要な専門家20名の確保を行う。	

項 目	50 年 度 の 計 画																																																				
	手 算 額	内 容																																																			
(3) 専門家の養成 ア 長期研修	41,473																																																				
	12,281	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修項目</th> <th>研修国名</th> <th>研修機関名</th> <th>研修期間</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(新規)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業土木</td> <td>アメリカ</td> <td>ネバダ大学砂漠研究室</td> <td>50.7.1 ~ 52.6.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td>オーストラリア</td> <td>英連邦科学産業研究所</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油煙作物</td> <td>マレーシア</td> <td>オイル・パーム研究所</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td>アメリカ</td> <td>熱帯林業研究所</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td>フランス</td> <td>〃</td> <td>50.6.1 ~ 52.5.31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(継続)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業土木</td> <td>オランダ</td> <td>国際土地開発改良研究所</td> <td>50.4.9 ~ 52.4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td>オーストラリア</td> <td>英連邦科学産業研究所</td> <td>50.4.9 ~ 52.4.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	研修項目	研修国名	研修機関名	研修期間	備 考	(新規)					農業土木	アメリカ	ネバダ大学砂漠研究室	50.7.1 ~ 52.6.30		畜産	オーストラリア	英連邦科学産業研究所	〃		油煙作物	マレーシア	オイル・パーム研究所	〃		林業	アメリカ	熱帯林業研究所	〃		林業	フランス	〃	50.6.1 ~ 52.5.31		(継続)					農業土木	オランダ	国際土地開発改良研究所	50.4.9 ~ 52.4.8		畜産	オーストラリア	英連邦科学産業研究所	50.4.9 ~ 52.4.8		
研修項目	研修国名	研修機関名	研修期間	備 考																																																	
(新規)																																																					
農業土木	アメリカ	ネバダ大学砂漠研究室	50.7.1 ~ 52.6.30																																																		
畜産	オーストラリア	英連邦科学産業研究所	〃																																																		
油煙作物	マレーシア	オイル・パーム研究所	〃																																																		
林業	アメリカ	熱帯林業研究所	〃																																																		
林業	フランス	〃	50.6.1 ~ 52.5.31																																																		
(継続)																																																					
農業土木	オランダ	国際土地開発改良研究所	50.4.9 ~ 52.4.8																																																		
畜産	オーストラリア	英連邦科学産業研究所	50.4.9 ~ 52.4.8																																																		
イ 中期研修	20,164	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>研修員数</th> <th>研修期間</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林業中級コース (専門分野、林業、土木 一般)</td> <td>30名</td> <td>50.5.20 ~ 7.30</td> <td> 国家公務員 10名 地方公務員 10名 民間(全担) 10名 } 30名 </td> </tr> <tr> <td>農林業上級コース</td> <td>20名</td> <td>50.9.10 ~ 11.21</td> <td> 国家公務員 10名 地方公務員 7名 民間(全負担) 3名 } 20名 </td> </tr> </tbody> </table>	研修名	研修員数	研修期間	備 考	農林業中級コース (専門分野、林業、土木 一般)	30名	50.5.20 ~ 7.30	国家公務員 10名 地方公務員 10名 民間(全担) 10名 } 30名	農林業上級コース	20名	50.9.10 ~ 11.21	国家公務員 10名 地方公務員 7名 民間(全負担) 3名 } 20名																																							
研修名	研修員数	研修期間	備 考																																																		
農林業中級コース (専門分野、林業、土木 一般)	30名	50.5.20 ~ 7.30	国家公務員 10名 地方公務員 10名 民間(全担) 10名 } 30名																																																		
農林業上級コース	20名	50.9.10 ~ 11.21	国家公務員 10名 地方公務員 7名 民間(全負担) 3名 } 20名																																																		

項 目	50 年 度 の 計 画	
	予 算 額	内 容
ウ、研修用映画の作成	千円 9,388	1. 規 格 カラー、16mm (2巻) 20分 日本語版 2. タイトル 熱帯の農業 3. 内 容 熱帯の農業環境(気候等)及び農業の実態を中心として、現在、実施中の我が国のプロジェクト並びに専門家の活動状況も紹介する。 4. 取 材 地 インドネシア、マレーシア、タイ、パキスタン

4. 開発技術指導事業計画

項 目	50 年 度 の 計 画																																																														
	予 算 額	内 容																																																													
(1) 民間企業等技術指導	千円 11,420 (2,240)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>件 数</th> <th>単 価</th> <th>適 用 率</th> <th>所 要 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(50年度分)</td> <td>無償</td> <td>2人</td> <td>2件</td> <td>千円 1,142</td> <td>100%</td> <td>千円 4,568</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>有償</td> <td>2人</td> <td>6件</td> <td>1,142</td> <td>50</td> <td>6,852</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(繰越分)</td> <td>アフリカ</td> <td>有償</td> <td>2人</td> <td>1件</td> <td>千円 1,416</td> <td>50</td> <td>千円 1,416</td> <td>ザイール(どうもろこし)</td> </tr> <tr> <td>東南アジア</td> <td>無償</td> <td>2人</td> <td>1件</td> <td>817</td> <td>100</td> <td>1,633</td> <td>インドネシア</td> </tr> <tr> <td>太平洋州</td> <td>有償</td> <td>2人</td> <td>1件</td> <td>925</td> <td>50</td> <td>925</td> <td>パプア(林)</td> </tr> <tr> <td>東南アジア</td> <td>有償</td> <td>2人</td> <td>4件</td> <td>817</td> <td>50</td> <td>3,266</td> <td>未定</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	人 数	件 数	単 価	適 用 率	所 要 額	備 考	(50年度分)	無償	2人	2件	千円 1,142	100%	千円 4,568	未定	有償	2人	6件	1,142	50	6,852	未定	(繰越分)	アフリカ	有償	2人	1件	千円 1,416	50	千円 1,416	ザイール(どうもろこし)	東南アジア	無償	2人	1件	817	100	1,633	インドネシア	太平洋州	有償	2人	1件	925	50	925	パプア(林)	東南アジア	有償	2人	4件	817	50	3,266	未定
			区 分	人 数	件 数	単 価	適 用 率	所 要 額	備 考																																																						
		(50年度分)	無償	2人	2件	千円 1,142	100%	千円 4,568	未定																																																						
			有償	2人	6件	1,142	50	6,852	未定																																																						
		(繰越分)	アフリカ	有償	2人	1件	千円 1,416	50	千円 1,416	ザイール(どうもろこし)																																																					
			東南アジア	無償	2人	1件	817	100	1,633	インドネシア																																																					
			太平洋州	有償	2人	1件	925	50	925	パプア(林)																																																					
			東南アジア	有償	2人	4件	817	50	3,266	未定																																																					
(2) 現地従事者技術者研修	16,658	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>研 修 員 数</th> <th>期 間</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農 業</td> <td>10 名</td> <td>2ヶ月</td> <td>インドネシア、マレーシア、フィリピン、</td> </tr> <tr> <td>林 業</td> <td>10</td> <td>〃</td> <td>フィリピン、インドネシア、パプアニューギニア (マダン)</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>10</td> <td>〃</td> <td>(農協間協力のため、タイ)</td> </tr> </tbody> </table>						分 野	研 修 員 数	期 間	備 考	農 業	10 名	2ヶ月	インドネシア、マレーシア、フィリピン、	林 業	10	〃	フィリピン、インドネシア、パプアニューギニア (マダン)	そ の 他	10	〃	(農協間協力のため、タイ)																																								
		分 野	研 修 員 数	期 間	備 考																																																										
		農 業	10 名	2ヶ月	インドネシア、マレーシア、フィリピン、																																																										
		林 業	10	〃	フィリピン、インドネシア、パプアニューギニア (マダン)																																																										
そ の 他	10	〃	(農協間協力のため、タイ)																																																												

